

項目	内容・目的等
目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光教育に関する最新の議論・情報の流通を図る。 ● 観光教育の関係者ネットワークを拡充する。 ● メディア等への取り上げを通じた、観光教育の注目度向上を試みる。
開催日時	<ul style="list-style-type: none"> ● 3月13日(土) 午前 10:00～11:30 シンポジウム 午後 13:00～15:00 ワークショップ
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン開催(午前: Zoom Webiner、午後: Zoom 会議室)
費用・申込 定員 想定参加者	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加費無料 事前申込制 ● 定員 シンポジウム 400名 (※事務局含めると最大 500名) ワークショップ 40名 ● 教育関係者(教員、教育委員会、教科研究会関係者、教育学部生、支援組織・NPO、等)、観光関係者(観光・商工部門の自治体担当者、観光関係団体、等)
実施内容案	<p>■ 午前 10:00～11:30 シンポジウムパート (定員 400名)</p> <p>① <u>主催者挨拶 <10分></u> ※可能であれば事前録画 「(仮) 観光を取り巻く現状と観光教育の取組について」</p> <p>② <u>話題提供(観光教育の先進事例を共有) <40分></u> 発表 A (先生) 10分 ※可能であれば事前録画 発表 B (先生) 10分 ※可能であれば事前録画 発表 C (先生) 10分 ※可能であれば事前録画 発表 D (学外) 10分 ※可能であれば事前録画</p> <p>③ <u>パネルディスカッション <40分></u> 「観光教育の普及に向けて」 ※可能であれば生放送 パネリスト: 森下先生 寺本先生、村上先生、文部科学省〇〇、JTB 中野様 コーディネーター: 宍戸先生 これまで様々な学校や団体において観光教育に取り組まれているが、それぞれ共通していることや、今後観光教育に取り組む際に意識すべきことについて議論する。</p> <p>④ <u>閉会</u></p>

■午後 交流ワークショップパート（定員 40 名：先着順）

⑤ 交流ワークショップ 午後 13:00～15:00

- ・Zoom ブレイクアウトルーム機能を利用し、4～8 人単位のグループを組成。
- ・討議結果は全体共有を行う。

討議テーマ案「○○○」

■活動の流れ

（ i ）事務局説明（討議テーマについて）

（ ii ）ディスカッション。【60 分】

（ iii ）討議内容の全体共有・質疑応答。【40 分】

各グループより①観光ネタ、②面白い使い方、をいくつか発表。